

日本認知言語学会第23回全国大会プログラム 【1日目】

9月3日(土)

開会挨拶(10:00~10:10) 会場: Main Hall

特別講演 10:10~12:10 会場: Main Hall	テーマ: The grammar of Internet Memes
	講師: Barbara Dancygier先生 (University of British Columbia) 司会: 篠原和子先生 (東京農工大学)

昼食休憩(12:10~13:10)

		第1室 Main Hall	第2室 Room A	第3室 Room B
ワークショップ	13:10 15:30	Variation research and its implications for Cognitive Linguistics 洪谷良方 (金沢大学) 大谷直輝 (東京外国語大学) 木山直毅 (北九州市立大学) 吉川正人 (慶應義塾大学[非常勤]) Willem Hollmann (Lancaster University [ディスカッサント]) *Presentation in English	レトリックを展望する —〈説得〉と〈認知・認識〉の観点からの再評価— 小倉雅明 (大阪公立大学) 平川裕己 (フリー) 稲永知世 (佛教大学) 佐藤健 (東京農工大学)	英語教育/学習への道具立てとしての認知言語学の活用 今井隆夫 (南山大学) 中谷博美 (滋賀県立大学) 中川右也 (三重大学)

		第1室 Main Hall	第2室 Room A	第3室 Room B	第4室 Room C	第5室 Room D
司会		菅井三実 (兵庫教育大学)	深田智 (京都工芸繊維大学)	和田尚明 (筑波大学)	木下りか (武庫川女子大学)	下地早智子 (神戸市外国語大学)
第1発表	15:45 16:20	現代日本語「~感」に反映されるFictive Interaction 高島彬 (金沢学院大学)	日本語の可能表現の(間)主観性に関する一考察 —禁止用法を中心に— 李善 (東北大学[院])	fictive motion文を利用した進行相と非進行相の違いを探索する心理言語学的研究 一條祐哉 (日本大学)	母語話者の非プロトタイプの表現選択に見る表現選択ストラテジー —「たい・ほしい」疑問文の使用実態から— 大政美南 (東京学芸大学大学院連合学校 横浜国立大学配置[院])	状態変化事象の進展に関する認知モデル —中国語“正在+動結”の分析を通して— 王棟 (東京外国語大学[院])
第2発表	16:30 17:05	複合名詞 [N+難民] の意味について 近大志 (京都大学[院])	新聞の投書記事における「と思う」の間主観性 金沢じゅん (東京大学[院])	Self-split During Mental Simulations 田中悠介 (福岡大学) *Presentation in English	現代日本語「うるさい」の多義語分析 —他の感覚領域への意味拡張とその動機づけ— 船木貴子 (南山大学[院])	現代中国語の“来”の多機能性に関する認知言語学的研究 —連結動詞構文“来+VP”における“来”を中心に— 陳李 (東北大学[院])
第3発表	17:15 17:50	文法の場面性 定延利之 (京都大学) [招聘]	話し手と言葉の距離をオノマトペ表現の分析から探索する—食品やテクスチャのリアリティに着目した実験から— 宇野良子 (東京農工大学) [招聘]	/		ライトノベルにおける二重の語り —「のだ」を中心に— 出原健一 (滋賀大学) [招聘]

出版社企画&参加者懇談会(18:05~19:05) 会場: Main Hall

日本認知言語学会第23回全国大会プログラム 【2日目】

9月4日(日)

		第1室 Main Hall	第2室 Room A	第3室 Room B	第4室 Room C	第5室 Room D
司会		篠原俊吾(慶應義塾大学)	大谷直輝(東京外国語大学)	大橋浩(九州大学)	吉田泰謙(関西外国語大学)	高橋清子(神戸外国語大学)
第1発表	9:30 10:05	形式名詞「うち」による 事態の捉え方 —「なか」との比較を通して— ルチラ パリハワダナ(京都大学) 近藤安月子(東京大学名誉教授) 高橋雄一(専修大学)	構文の意味的複合性と 形式的単位について —[V 0 with 身体語]の 事例分析をとおして— 野澤元(京都外国語大学) 神原一帆(京都外国語大学[非常勤]) 高橋武志(京都外国語大学[院])	英語のセッティング主語構文・ it非人称構文・参与者経験構文 の連続性を動機付ける概念基盤 について 對馬康博(藤女子大学)	中国語の副詞“不妨”に見られ る間主観的意味の分化 朱冰(九州大学)	日タイ語における方向動詞「出 る」とออก ‘EXIT’の対照研 究 —「-カ ^o (-カラ)出る」構 文を中心に— SRITRAKOOL, Sutheera(東北 大学[院]) 上原聡(東北大学)
	10:15 10:50	連用形名詞の時解釈における ACTION FOR TIME>メトニミー 八木健太郎(中央学院大学)	構文文法から見たNP条件構文 —構文による解釈強制に 着目して— 田村心(筑波大学[院])	言語変化の認知的基盤 —動詞から前置詞への文法化に 注目して— 林智昭(明海大学)	授受表現の主体性に関する 日中対照研究 楊世沢(京都大学[院])	インドネシア語の受身標識と 被害受身標識が表す証拠性表現 —Behavioral Profileを 使用した統計的分析— 佐近優太(東京外国語大学 [院])

司会		柴崎礼士郎(明治大学)	大月実(大東文化大学)	堀田優子(金沢大学)	三宅登之(東京外国語大学)	小熊猛(金沢大学)
第3発表	11:00 11:35	Constructionalization of the Japanese addressee- honorification system 山田彬堯(Akitaka Yamada) (Osaka University) *Presentation in English	色彩語whiteを含む強意直喩表 現が伝達する意味と媒体につい て 竹森ありさ(大阪大学[院])	非選択目的語結果構文と慣習性 岩崎剛毅(東京大学[院])	グランディングから中国語形容 詞の意味機能を捉えなおす —日本語の形容詞と 比較しながら— 王安(法政大学) 上原聡(東北大学)	「事態把握」の観点から見た アルメニア語の特徴 —日本語及び英語との 対照を通して— クロヤン ルイザ(名古屋大学 [博士研究員]) 堀江薫(名古屋大学大学院)
	11:45 12:20	「XよりもX」構文の認知的基盤 —<体験>に基づく 評価の比較— 松浦光(横浜国立大学[非]) 梶原彩子(名古屋学院大学) 菊地礼(国立国語研究所 [非])	Colour Terms and Metaphors in English 飛岡翔(名古屋大学[院]) *Presentation in English	結果句によって喚起される フレームの役割について 浅井良策(豊橋技術科学大学)	認知言語学の品詞の捉え方の 汎言語的意義 —日中両言語の「内の関係」の 連体修飾形を例に— 葉秉杰(国立政治大学(台 湾))	スペイン語と日本語の 与格経験主構文 —構文カテゴリーの 対照を中心に— 西口将司(神戸市外国語大学 [院])

昼食休憩(12:20~14:00 ポスターセッションを含む)

		Room A (各発表はブレイクアウトルーム(BR))			
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	12:35 13:35 8件 同時進行	【BR1】 敬意表現に見る他者との関わり 樋口紳子(フリー)	【BR2】 英語における to-不定詞補文の意味上の主語 はどのように決定されるのか —構文文法の観点から— 酒井啓史(筑波大学[院])	【BR3】 日本の俳句の表現と 鑑賞について —日本語話者の「見え」の 視座からの考察— 藤澤拓也(創価大学[院])	【BR4】 〈粘〉を表す類義語が対人認知 メタファー実現への制約 劉俊蘭(関西大学[院])
		【BR5】 詩的認知とconstrual —詩の創発と鑑賞の観点から— 向井理恵(高岡法科大学)	【BR6】 中国語の把(BA)構文についての —考察 屈莉(高岡法科大学)	【BR7】 I don't knowの談話的用法に 関する認知的考察 小林隆(群馬県立女子大学)	【BR8】 日中再帰代名詞「自分」と “自己”が表す「主体的自己」 と「客体的自己」について 張雨(名古屋大学[院])

総会(14:00~14:20) 会場: Main Hall

シンポジウム 14:20 17:00 会場: Main Hall	テーマ: 『フレーム意味論の新展開』 司会・講師: 松本曜(国立国語研究所) 講師: 梶山洋介(南山大学) 講師: 小原京子(慶應義塾大学) 講師: 河原大輔(早稲田大学)
--	--

閉会挨拶(17:00~17:05) 会場: Main Hall